

住警器の設置促進活動に対し「防災まちづくり大賞」受賞

「防災まちづくり大賞」は、地方公共団体や自主防災組織等における防災に関する優れた取組、工夫・アイデア等、防災に関する幅広い視点からの効果的な取組を推奨し、もって地方公共団体等における災害に強い安心・安全なまちづくりの一層の推進に資することを目的として実施しており、次の団体が受賞されました。

<住宅防火部門>

■消防庁長官賞

「地域での住宅用火災警報器共同購入の取組」

- 受賞団体 京都府宇治市消防団あさぎり分団笠取支部（旧 笠取婦人防火クラブ）
- 概要

クラブ員が地区における共同購入を一丸となって取り組んだ結果、地区設置率98%を達成し、高齢者宅など取り付けが困難な住宅への訪問設置を実施するなど、市内における住宅用火災警報器の普及促進のモデルケースとして大きな役割を果たした。

■日本防火・危機管理促進協会理事長賞

1. 「女性消防隊による区民に対する住宅防火意識の高揚」

- 受賞団体 広島市安佐南区消防団事務局女性消防隊（愛称：せせらぎ女性消防隊）
- 概要

地域住民の防火・防災意識を高めていくため、「住宅用火災警報器」の設置促進を題材とする寸劇を行っている。また、区内の火災原因の1位がコンロによる火災であることに着目し、新たに「コンロ火災防止」の寸劇にも取り組んでいる。

2. 「地域総合力の発揮による安全安心な町づくりの構築」

- 受賞団体 東京都多摩市東寺方自治会
- 概要

毎週日曜日に夜警を実施し、市や都に働きかけて暗い道路に街路灯を20ヶ所以上設置し、放火されにくい環境を作り地域の防災力向上を図っている。また、住警器の費用を自治会費で一部負担して共同購入による設置促進を進めている。

[※第14回防災まちづくり大賞 受賞団体一覧表はこちらをご覧ください。](#)（PDF）

[▲ このページの上に戻る](#)